

## 平成30年度 第3回 学校関係者評価委員会 (H31. 1. 29開催) 記録

### 【「質疑応答」の時間内での各委員からの意見・助言】

#### ●委員A

- 錦江湾高校は集団活動・行事・SSHなど目標がはっきりしているのすごいいい。
- 学習面の目標が生徒に伝わっているか。また、自宅での学習時間確保はどうしていくか。  
→どんな進路でも満足に卒業できる状態としたい。また、上位層をしっかり伸ばしていくことが必要と考えている。
- 理数科の入学者数が減っているとのことなので、どうにか増やしてほしい。後援会も協力できるところはしていく。

#### ●委員B

- LP・SRのプレゼン発表は良かった。
- 2年生の学校評価が低かったが、授業風景・行事等の取り組みを見ても他学年と変わらないように見える。自己肯定感が低いことが学習に影響があるか。  
→1年時には問題行動がいくつかあったが、模擬試験はよかった。集団生活において周りの様子をうかがって行動する生徒が多いように感じている。学習に関しても二極化しているようにみえるので、学年の職員が一丸となっていていろいろ手立てをしている。
- 1年生の学校評価で「不十分である」が全部の項目にいるが特定の生徒か。それとも別々か。  
→把握をしていない。今後の参考にします。

#### ●委員C

- 3年生の現在の様子はどうか。また、1・2年の進路に対する取り組みはどうか。  
→3年 : 190名センター試験を受験。推薦入試による国公立合格者は7名。  
1・2年 : 進路や担任から入試などの情報を発信している。目標を決めて、進路先を自分で調べている。特に2年はLHRで進路探究を現在している。

#### ●委員D

- SSHを普通科まで広げた結果はどうだったか。  
→課題意識への変化はある。しかし、普通科と理数科とでは内容が違うので比較は難しい。総合的な学習とは違い、生徒達が意欲的に行っている点はよかった。
- SSHを行うことで個性を伸ばすのにすごいいいので、これを進めることで二極化も防げるのではないか。
- 錦江湾高校は良い雰囲気や良い風をもっている。大学に来ている錦江湾高校卒業生は誇りをもっている。職員の学校評価の「十分達成できている」が少ないのは、まだまだできるということだと思っている。保護者の満足度も高い。
- 2年の落ち込みを言ったが、個性を生かす場面を作れば良いと思う。そのために職員がしかけを作ることが大事である。

#### ●委員E

- SSHをぜひ続けて頂きたい。小学校でも現在新聞を作成しプレゼンを行っているので、将来のために続けるといいと思う。
- 学校評価のアンケートの形式をマークシートだけでなく、選んだ理由を答えさせる自由記述の欄を作ると良いのではないか。

#### ●委員F

- 毛虫にさされた生徒が多いと聞いたが、今年は虫の駆除を行ったか。  
→気候の関係で今年はあまり発生しなかったので行っていない。

\* A～Fの委員は、本校PTA代表2人、地域住民代表、近隣小学校長、中学校長、大学教授である。(順不同)